

もと 主水だより

第4号 平成20年11月10日発行

国土交通省関東地方整備局
江戸川河川事務所松戸出張所
〒271-0042 松戸市主水新田102
TEL 047(343)3722

工事の紹介<1>

10月下旬から江戸川の古ヶ崎グランド脇で工事を開始した『古ヶ崎護岸災害復旧工事』を紹介します。完成は平成21年2月末の予定です。

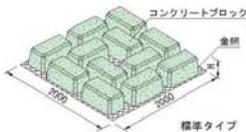
工事名：古ヶ崎護岸災害復旧工事
工期：H20.4.29～H21.2.27
施工場所：松戸市古ヶ崎地先
（古ヶ崎グランド脇）
施工者：金杉建設(株)



この工事の特徴は

その1 コスト縮減と工期短縮

『ブロックネット工法』という新技術を採用することにより、通常のコンクリートブロックより1回に設置できる面積が大きく手間が少なく済むため、コスト縮減及び工期の短縮が図れます。



施工イメージ



その2 環境

数年後には、土や植物に覆われ、より自然な景観へと変わります。



その3 リサイクル

袋詰め根固めは、他の工事から出たコンクリートの欠片を袋に詰める材料として再利用しています。



現場よりひとこと

みんな一丸となって完成目指して頑張っています。

現場には意見箱がありますので、工事に対する皆さんの声をお聞かせください。

金杉建設(株)
現場代理人
青山



多自然川づくりの取り組み

国土交通省は、全ての河川を対象に多自然川づくりに取り組んでいます。

「多自然川づくり」とは、河川全体の営みを視野に入れ、地域の暮らしや歴史・文化との調和にも配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出するために、河川管理(調査・計画・設計・施工・維持管理など)を行うことです。

これにもとづき、護岸についても生物の生息・生育・繁殖環境と多様な河川景観の保全・創出に配慮した工法としました。

平成19年2月撮影
上葛飾橋(江戸川)下流のワンド(整備中)



出水期を振り返って

今年の水出期をいくつかの視点から振り返ってみました。
みなさんは、どんな印象をお持ちでしょうか。

水出期:一年のうち台風や集中豪雨で洪水が起きやすい6月から10月をいう。

今年一番の水出は・・・

一番雨がたくさん降ったのは

一番川の水位が上がったのは

一番排水ポンプを運転したのは

8月28日～9月3日の松戸排水機場のポンプ運転日数6日
8月29日～9月1日の古ヶ崎排水機場のポンプ運転日数4

8月27～31日までの野々下雨量観測所の累加雨量162m

8月31日の松戸水位観測所(江戸川)の水位4.24m
8月30日の大谷口新田水位観測所(坂川)の水位3.30m

答えは、みんな8月末の豪雨による影響によるものです。

今年の台風は・・・

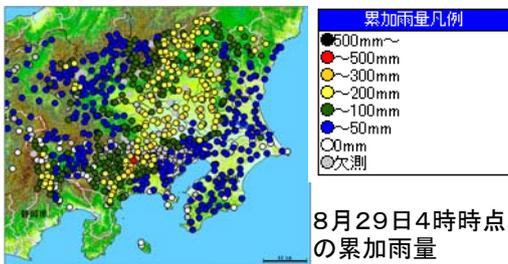
台風は30年間(1971～2000年)の平均で年間約27個発生し、そのうち平均で約3個が日本に上陸します。また、上陸しなくても平均で約11個の台風が日本から300km以内に接近します。

今年10月末までの台風の発生数は18個、上陸数は0個でした。

ゲリラ豪雨

積乱雲が現れて雷が鳴ったと思ったら、バケツをひっくり返したような雨が降る。そんな局地的な大雨を「ゲリラ豪雨」と呼びます。

野々下雨量観測所では、8月末の豪雨で1時間に97mの雨量を観測しました。



江戸川からの逆流防止のため松戸水門を全閉



出張所の水出時の対応は・・・

江戸川の水位上昇により、坂川の排水が出来なくなると、松戸及び古ヶ崎排水機場のポンプ運転を行い洪水被害を防ぎました。

占有者に川の水位が上昇することを伝え、水出時の適切な対応(施設の撤去など)を依頼しました。また、ホームレスにも注意を促しました。

水出後には、堤防や護岸に異常がないか、ゴミが大量に堆積していないかなどの点検を行いました。

不法係留船調査を実施

江戸川の河岸には、許可を受けずに係留している船が多数あります。船の係留は洪水時に流出の恐れがあることや、また、河川の景観も損ねてしまいます。

そこで、当出張所では不法係留船の実態調査を毎年実施しており、今年には11月に行いました。50隻の不法係留船が確認され、これらの船に対しては、看板の設置や警告書を貼り船の移動や撤去を促しました。



江戸川の不法係留船